

**江東区毛利保育園・江東区亀高保育園
指定管理者（候補者）の推薦について**

令和3年8月

江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会

保育所専門部会

目 次

I	施設及び指定管理者（候補者）概要	・ ・ ・ ・ ・	P 1
II	選定方法	・ ・ ・ ・ ・	P 2
III—1	毛利保育園選定結果	・ ・ ・ ・ ・	P 3
III—2	亀高保育園選定結果	・ ・ ・ ・ ・	P 9
IV	外部有識者意見	・ ・ ・ ・ ・	P 1 5

< 参考資料 >

事業計画書	・ ・ ・ ・ ・	P 1 7
収支計画書	・ ・ ・ ・ ・	P 6 3
定款	・ ・ ・ ・ ・	P 6 5

I 施設概要等

施設名		江東区新砂保育園	江東区毛利保育園	江東区亀高保育園
施設	所在地	江東区新砂3-3-11	江東区毛利2-1-14	江東区北砂5-20-9-101
	施設面積	延床面積 1108.96㎡ 屋外遊戯場面積 181.64㎡	延床面積 713.50㎡ 屋外遊戯場面積 313.09㎡	延床面積 1768.20㎡ 屋外遊戯場面積 650.00㎡
	構造	鉄筋コンクリート造地上5階建のうち、1階	鉄骨造地上2階建のうち、1階	鉄骨鉄筋コンクリート造地上14階建のうち、1階
	開設年月日	平成24年6月1日	昭和36年4月1日 平成19年4月1日より公設民営保育所として開所	昭和52年7月1日 平成29年4月1日より公設民営保育所として開所
	名称・所在地	社会福祉法人 こうほうえん 鳥取県境港市誠道町2083番地	社会福祉法人 もろほし会 東京都江東区住吉二丁目25番9号	社会福祉法人 光聖会 大阪府大阪市天王寺区夕陽丘町2番18号
1 指定管理者(候補者)	代表者	理事長 廣江 晃	理事長 赤塚 智香	理事長 秋田 光哉
	設立	昭和61年7月3日	昭和46年3月24日	平成17年12月21日
	事業内容	保育所の経営	保育所の経営	保育所の経営
	運営実績(保育所のみ記載)	【公設民営保育所1園】 岩淵保育園(北区) 【私立保育所8園】 キッズタウンうきま保育園、キッズタウンうきま夜間保育園、キッズタウン東十条保育園、(北区) キッズタウンにしおおい保育園(品川区) キッズタウンむかいほら保育園(板橋区) キッズタウン下落合保育園(新宿区) キッズタウンかみごとう保育園、認定こども園キッズタウンさくら(鳥取県 米子市)	【公設民営保育所】2園 猿江保育園(江東区) 【私立保育所】1園 めばえ保育園(江東区)	【私立保育所】15園(分園2園含む) 蓮美幼児学園とよすナーサリー、蓮美幼児学園第2とよすナーサリー(江東区) 蓮美幼児学園みなとまちナーサリー、蓮美幼児学園たにまちナーサリー(分園)、蓮美幼児学園てんまばしナーサリー、蓮美幼児学園てんまんどうナーサリー、蓮美幼児学園まつやまちナーサリー、蓮美幼児学園もりのみやナーサリー(分園)、蓮美幼児学園たまつくりナーサリー(大阪市) 蓮美幼児学園千里丘北ナーサリー(吹田市) 蓮美幼児学園唐崎キンダースクール(大津市) 蓮美幼児学園芦屋川ナーサリー、蓮美幼児学園芦屋山ナーサリー(芦屋市) 【小規模保育所】3園 蓮美幼児学園いずみプリメール(大阪市) 蓮美幼児学園五月が丘プリメール、蓮美幼児学園千里丘プリメール(吹田市) 【認定こども園】2園 蓮美幼児学園うえしおキンダースクール(大阪市) 蓮美幼児学園千里が丘キンダースクール(吹田市) 【認可外・企業主導型】3園 蓮美幼児学園夕陽丘プリメール、蓮美幼児学園上本町プリメール(大阪市) 蓮美幼児学園千里丘北プリメール(吹田市)
	2 指定管理者が行う業務	(1) 保育事業の実施、(2) 施設及び設備の維持管理		
3 指定期間	原則5年(令和4年4月1日～令和9年3月31日)			
4 選定方法及び手順	法人から提出された運営企画書、利用者アンケート及び財務諸表を基に専門部会において審査を行い、総合的に評価を実施した。			
5 指定管理者に対する評価	運営企画書、保護者からの支持(利用者アンケート)、財務状況診断を総合して評価した結果、総合評定は「A」である。			
6 指定管理次期選定に係る推薦理由について	推薦の理由は以下のとおりである。 上記法人について審査を行ったところ(審査項目及び結果については次頁以降を参照)、良好な結果を得た。現在の各運営法人は、指定管理移行時から児童福祉法に基づく適正な保育施設の運営を行っており、安定した施設の管理運営が見込める。以上の理由から、現在の各運営法人を指定管理者として推薦する。			

II 【選定方法】

1 非公募選定の方法

以下の点について専門部会において書類審査及びヒアリングを行い総合的に評価を実施した。

- ①これまでの実績、今後の計画が明確であること。
- ②園の運営について保護者からの支持が得られていること。
- ③財務状況に問題がないこと。

(1) 書類審査

法人から提出された運営企画書、利用者アンケート及び財務諸表を基に実施した。

(2) ヒアリング

書類では確認できなかった部分について庁内において法人に対しヒアリングを行った。

2 選定の経過

日付	会議名	内容
令和3年2月17日 (書面開催)	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会	非公募の検討 選定基準(案)の検討
令和3年3月18日	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会	非公募選定の決定
令和3年5月12日	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会	選定基準の決定
令和3年7月21日	江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会	推薦候補者の選定

3 部会員名簿

江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会 会員名簿

役職	職名	氏名
部会長	こども未来部長	炭谷 元章
副部会長	保育計画課長	西野 こずえ
	保育課長	渡邊 貴志
部会員	こども家庭支援課長	大塚 尚志
	児童相談・養育支援担当課長	小越 誠
	保育計画課保育計画係長	飯田 和孝
	保育計画課運営指導係長	河合 郁代
	保育計画課運営指導担当係長	橘 まゆみ
	保育課保育管理係長	鴨田 隆
	保育課保育支援係長	佐藤 久美子
	保育課入園係長	工藤 充
	古石場保育園園長 (区立保育園園長会 会長)	久保 富美子
城東保育園園長 (区立保育園園長会 副会長)	前田 千鶴子	
外部有識者		

Ⅲ－１ 毛利保育園選定結果

1 書類審査・ヒアリングの結果

(1) 運営企画書による評価

江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会会員による採点の結果は「A評価」である。採点詳細及び見解は次頁以下のとおりである。

(2) 利用者アンケートについて

平成29年から令和2年度までに実施した利用者アンケートの直近4か年の総合評価は「A評価」である。詳細は次頁以下のとおりである。

(3) 財務状況審査

中小企業診断士による決算分析を基に、専門部会において財務状況を審査した。非常に優れた財務状況である場合はA、一部に懸念すべき点があるが支障がない場合はB、懸念すべき点が多く支障がある場合はC、財務状況が非常に悪く支障がある場合はDとした。

以上のことから財務状況の総合評価は「A評価」である。

2 選定結果総括

	実績・今後の計画 (運営企画書)	保護者からの支持 (利用者アンケート)	財務状況診断
毛利保育園(社福・もろほし会)	A	A	A

実績・今後の計画、保護者からの支持及び財務状況は良好であり、当法人については再指定が妥当であると考えます。

3 外部有識者への意見聴取

江東区毛利保育園における保育所指定管理者選定に関し、意見を聴取した。

(外部有識者氏名及び略歴)

氏名

略歴

意見聴取の結果については15頁のとおりであります。

【採点表】

区分	選定基準	配点		毛利保育園		
	評価項目			(合計点)	(平均点)	(得点率)
1	保育園運営に関する考え方	(小計)	360	3.772	290.2	80.6%

区分	選定基準	配点		毛利保育園		
	評価項目			(合計点)	(平均点)	(得点率)
2	特別保育事業に対する考え方	(小計)	40	424	32.6	81.5%
3	地域との関わりに対する考え方	(小計)	20	224	17.2	86.2%
4	職員配置	(小計)	20	204	15.7	78.5%
5	コスト削減	(小計)	10	104	8.0	80.0%
6	再指定にあたっての考え方	(小計)	10	114	8.8	87.7%
合計点		460点満点		373.0点	81.1%	
※保育所専門部会員13人による平均得点を算出し、得点が配点の8割以上の場合はA、6割以上の場合はB、4割以上はC、4割未満はDと評価する。				評価		
				得点率が $373点/460点 = 81.1\%$ よってA評価とする。		

【毛利保育園の運営企画書に対する見解】

審査項目	保育所専門部会としての意見
I 保育園運営に関する考え方	<p>全体的に良好な運営が確認された。大津の散歩中の園児死亡事故を受けてすぐに門扉を取付する等、保護者からの意見や課題に対して素早く対応している。保育ドキュメンテーションにも積極的に取り組んでいる。特に安全管理には力をいれており、安全面・衛生面・コストを考慮して計画的かつ積極的な修繕及び設備投資に取り組んでいる。また、在園保護者のみならず地域の方にも役立つ保護者向け講演会を実施する等、保護者への子育て支援に取り組んでいる。充実した研修や婦人科検診受診時の独自休暇の設置等、職員育成にも取り組んでいる。</p>
(保育に携わる職員としての基本的な資質の確保)	<p>入職時の新人研修のほか、全職員が園内研修「職員の心得」に参加し、主任、リーダー職員の指導の下、「子どもの人権の尊重」、「地域交流への説明」等を理解している。また園長により毎月の各種会議、園内研修において指導を行っている。</p>
II 特別保育事業に対する考え方	<p>2時間延長保育、スポット延長保育を実施している。延長保育時間について職員間の引継ぎや延長保育室の環境づくりに工夫がされている。自主事業としては、猿江恩賜公園を活用した出前保育や、保育体験等の子育て支援及び情報交換の場を提供している。</p>
III 地域との関わりに対する考え方	<p>地域に根差した保育園として、近隣小学校との交流や高齢者施設の行事に参加する等積極的に交流を図っている。また保護者だけでなく祖母なども含めたプレママ体験の実施等、地域の人との連携交流に積極的である。</p>
IV 職員配置	<p>必要とされる職員数を配置するようにしており、引き続き安定的な職員配置が今後も期待される。</p>
V コスト削減	<p>保育園運営におけるコストの大部分は人件費であるため、大幅なコスト削減は困難である中、法人として安易な人件費削減は行わず、採用活動のコスト削減及び積極的な処遇改善を実施することによる職員定着に努めることでコスト削減につなげている。物品や備品の管理を徹底し計画的な購入に努めるなど、最小限のコストで保育の質を高めようとする努力が見られる。</p>
VI 再指定にあたっての考え方	<p>「養護と教育の一体化」という保育理念の下、保護者とコミュニケーションを図りながら、子供が安全に自主性をもって活動できる保育を提供している。福利厚生や研修の充実、処遇改善にも積極的に努め非常に職員の定着率が高く、結果質の高い安定した保育が提供できている。保育ドキュメンテーションにも取り組みはじめ、引き続き良好な運営が期待できる。</p>

【利用者アンケート結果】

利用者アンケート(H29～R2平均)		毛利保育園	
		肯定的な意見の割合	評価
1	保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	98.3%	A
2	保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	98.0%	A
3	提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	92.3%	A
4	保育所の生活で身近な自然や社会と十分に関わっているか	94.0%	A
5	保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	88.4%	A
6	安全対策が十分取られていると思うか	93.1%	A
7	行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	78.3%	B
8	子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	92.1%	A
9	施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	98.2%	A
10	職員の接遇・態度は適切か	97.6%	A
11	病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	95.1%	A
12	子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	84.8%	A
13	子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	97.6%	A
14	子どもと保護者のプライバシーは守られているか	95.1%	A
15	保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	93.8%	A
16	利用者の不満や要望は対応されているか	81.8%	A
17	外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	57.8%	C
※ 肯定的な答えの割合が8割以上であればA、6割以上はB、4割以上はC、4割未満はDと評価する。アンケート結果全体を通してAまたはB評価の数が全体の8割以上であれば総合A、6割以上であれば総合B、4割以上であれば総合C、4割未満であれば総合Dと評価する。		A・Bの割合	総合評価
		94.1%	A

【参考】

平成29年度～令和2年度までの満足度平均

<設問>現在利用している保育園を見て総合的にどのように感じていますか

1	大変満足	66.1%
2	満足	31.8%
3	どちらともいえない	0.3%
4	不満	0.0%
5	大変不満	0.3%
6	非該当	1.4%
1・2の合計		97.9%
総合評価		A

Ⅲ-2 亀高保育園選定結果

1 書類審査・ヒアリングの結果

(1) 運営企画書による評価

江東区公の施設に係る指定管理者選定評価委員会保育所専門部会会員による採点の結果は「B評価」である。採点詳細及び見解は次頁以下のとおりである。

(2) 利用者アンケートについて

平成29年から令和2年度までに実施した利用者アンケートの直近4か年の総合評価は「A評価」である。詳細は次頁以下のとおりである。

(3) 財務状況審査

中小企業診断士による決算分析を基に、専門部会において財務状況を審査した。非常に優れた財務状況である場合はA、一部に懸念すべき点があるが支障がない場合はB、懸念すべき点が多く支障がある場合はC、財務状況が非常に悪く支障がある場合はDとした。

以上のことから財務状況の総合評価は「A評価」である。

2 選定結果総括

	実績・今後の計画 (運営企画書)	保護者からの支持 (利用者アンケート)	財務状況診断
亀高保育園(社福・光聖会)	B	A	A

実績・今後の計画、保護者からの支持及び財務状況は良好であり、当法人については再指定が妥当であると考えます。

3 外部有識者への意見聴取

江東区亀高保育園における保育所指定管理者選定に関し、意見を聴取した。

(外部有識者氏名及び略歴)

氏名

略歴

意見聴取の結果については15頁のとおりであります。

【採点表】

区分	選定基準	配点	亀高保育園		
	評価項目		(合計点)	(平均点)	(得点率)
1	保育園運営に関する考え方	(小計) 360	3,254	250.3	69.5%

区分	選定基準	配点		亀高保育園		
	評価項目			(合計点)	(平均点)	(得点率)
2	特別保育事業に対する考え方	(小計)	40	390	30.0	75.0%
3	地域との関わりに対する考え方	(小計)	20	190	14.6	73.1%
4	職員配置	(小計)	20	148	11.4	56.9%
5	コスト削減	(小計)	10	96	7.4	73.8%
6	再指定にあたっての考え方	(小計)	10	108	8.3	83.1%
合計点		460点満点		322.0点	70.0%	
※保育所専門部会員13人による平均得点を算出し、得点が配点の8割以上の場合はA、6割以上の場合はB、4割以上はC、4割未満はDと評価する。				評価		
				得点率が 322点/460点＝ 70.0% よってB評価とする。		

【亀高保育園の運営企画書に対する見解】

審査項目	保育所専門部会としての意見
I 保育園運営に関する考え方	<p>全体的に良好な運営が確認された。幅広い国籍や様々な背景の園児が多いため、それを踏まえて特に多文化理解保育を実施している。一時期職員の入れ替えが多かった時期があり、その原因を分析し課題解決に努め、現在では一定程度の成果をあげている。研修や独自休暇の設置、職員間コミュニケーション強化等職員育成・定着支援にも力を入れている。特に安全面では古い園舎であるため日々点検を実施し、不具合が発生した際には区と素早い連携を図りながら解消に努めている。</p>
(保育に携わる職員としての基本的な資質の確保)	<p>研修において具体的事例を用いて説明し、日常におけるコンプライアンスについて考える機会を設け、法令・ルールを守り人権を尊重し、高い倫理観を持って保育を行うことを指導している。また、職員ルールブックによる周知を行っている。</p>
II 特別保育事業に対する考え方	<p>2時間延長保育、スポット延長保育を実施している。延長保育時間について職員間の引継ぎに工夫がされている。</p> <p>自主事業としては、独自に体育指導や外国人による英語指導、総合幼児教育研究会による教育を実施している。また「蓮美ひろば」という保育体験や身体測定等の催しを実施し、地域の子育て支援に取り組んでいる。</p>
III 地域との関わりに対する考え方	<p>集合住宅で核家族の多い地域にある保育園として、「共育」の理念より蓮美ひろばや関係機関との連携等を通して地域の人との連携交流に積極的である。また近隣小学校との交流に参加する等積極的な交流を図っている。</p>
IV 職員配置	<p>必要とされる職員数を配置するようにしており、引き続き安定的な職員配置が今後も期待される。</p>
V コスト削減	<p>保育園運営におけるコストの大部分は人件費であるため大幅なコスト削減は困難である中、採用コストの削減や職員定着に力をいれることで、コスト削減につなげている。おもちゃの材料にリサイクル品を利用する等、最小限のコストで保育の質を高めようとする努力が見られる。</p>
VI 再指定にあたっての考え方	<p>平成29年移行以来区立園の良さを引き継ぎながら、民営であるからこそできる英語や絵画等の自主事業を実践してきた。保護者とも日々コミュニケーションに努め信頼関係を築いている。結果直近の利用者アンケートでは約9割の保護者が園に満足と回答している。研修の充実や業務の見直しによる職員の負担軽減等職員定着に努めている。老朽化施設でも安全確認強化に努め、不具合にも速やかな対応を心掛けている。今後も引き続き良好な運営が期待できる。</p>

【利用者アンケート結果】

利用者アンケート(H29～R2平均)		亀高保育園	
		肯定的な意見の割合	評価
1	保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	95.5%	A
2	保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	93.8%	A
3	提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	88.6%	A
4	保育所の生活で身近な自然や社会と十分に関わっているか	75.2%	B
5	保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	70.2%	B
6	安全対策が十分取られていると思うか	63.3%	B
7	行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	75.3%	B
8	子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	74.6%	B
9	施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	78.7%	B
10	職員の接遇・態度は適切か	75.2%	B
11	病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	78.8%	B
12	子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	64.8%	B
13	子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	83.7%	A
14	子どもと保護者のプライバシーは守られているか	77.9%	B
15	保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	74.7%	B
16	利用者の不満や要望は対応されているか	68.8%	B
17	外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	53.8%	C
※ 肯定的な答えの割合が8割以上であればA、6割以上はB、4割以上はC、4割未満はDと評価する。アンケート結果全体を通してAまたはB評価の数が全体の8割以上であれば総合A、6割以上であれば総合B、4割以上であれば総合C、4割未満であれば総合Dと評価する。		A・Bの割合	総合評価
		94.1%	A

【参考】

平成29年度～令和2年度までの満足度平均

<設問>現在利用している保育園を見て総合的にどのように感じていますか

1	大変満足	36.0%
2	満足	50.5%
3	どちらともいえない	6.5%
4	不満	6.5%
5	大変不満	0.0%
6	非該当	0.0%
1・2の合計		86.5%
総合評価		A

江東区公の施設の指定管理者選定委員会

保育所専門部会 部会長殿

江東区新砂保育園、毛利保育園及び亀高保育園における保育所指定管理者選定結果について

標記の件について、次のとおり報告します。

各施設の指定期間中の運営状況に対する評価については以下のとおりである。

1 江東区新砂保育園

全体として、良好な園運営が確認された。コロナ禍でもアプリでの動画配信など工夫しながら保育を実施している。また独自に空気清浄機を増設したり、CO2測定器を設置するなど安全・衛生対策にも力をいれている。

園運営にあたり、必要十分な職員体勢がとられており、目標管理と研修をリンクさせ、休暇を確実に取得できる体制とするなど、職員の定着支援にも努めている。

また、高齢施設との合築であるメリットを最大限に活かし、日常的に介護施設利用者と交流し園児の社会性を育む保育を実施している。指定期間中の利用者アンケート結果では、「大変満足」「満足」の平均合計が90.6%と高い評価を得ており、特に保育内容に関して高評価であった。

2 江東区毛利保育園

全体として、良好な園運営が確認された。特に安全面・衛生面・コスト面を考慮し、保護者からの意見や問題点に対して素早く対応している。法人独自で計画的かつ積極的な修繕や設備投資に取り組んでおり、安定した保育が実施できている。地域との交流にも積極的に取り組んでいる。

園運営にあたり、必要十分な職員体勢がとられており、定着支援として福利厚生や研修の充実にとどまらず、安易な人件費削減は行わず積極的な処遇改善を実施し、その成果として離職もほとんどなく、結果、経験豊富な職員を中心に質の高い保育の提供が実現できている。

指定期間中の利用者アンケート結果では、「大変満足」「満足」の平均合計が97.9%と非常に高い評価を得ており、特に保育内容や職員の接遇に関して高評価であった。

3 江東区亀高保育園

全体として、良好な園運営が確認された。初めて再指定を迎えるが利用者との信頼関係構築に努めており、満足度の向上に寄与している。古い園舎であるため特に日々の安全点検に力をいれ、発見された課題に対しては区とも連携を密に取りながら素早く適切に対応をしている。

園運営にあたり、必要十分な職員体勢がとられており、研修や休暇の充実、職員間コミュニケーションの強化など職場環境向上及び定着支援に努め、よりよい保育の実現に取り組んでいる。

指定期間中の利用者アンケート結果では、「大変満足」「満足」の平均合計が86.5%と他2園におよばないものの保護者の不満についてはスピード感を持って改善が図られており、着実に保護者との信頼関係が構築されていると考えられる。特に保育内容に関して高評価であった。

4 総評

いずれの園も良好な園運営が確認された。

特に昨今保育従事者による子どもに対する犯罪の問題など、保育に携わる職員としての基本的な資質の確保が問われているところ、各園において法令、社会的規範やモラルを守り、高い倫理意識をもって保育を行うよう指導がなされている。

一方、外部の苦情窓口への相談のしやすさには改善の余地がある。これは、各園への満足度が高いため、利用者の苦情窓口に対する必要性や関心が低いことが要因と考えられる。しかしながら、よりよい園運営にあたっては、利用者の満足度に慢心することなく、何かあれば外部の相談窓口が活用できる旨、積極的に周知等実施していく姿勢が必要である。

非公募とする旨の決定や詳細に検討された選定基準及び評価項目を用いて書類審査等を実施していることから、選定の手順としては極めて公平で妥当である。法人を選定するに当たっての3つの条件である①実績及び今後の計画、②保護者からの支持、③財務状況診断についても、再指定を判断する上での的確な条件であると言える。

以上のことから結論づけると、全体的に区の求める保育サービス水準要求以上の保育を実施しており、保護者からの満足度も高く、事業者が変わることのリスク等を総合的に判断すると、上記3施設に係る指定管理者候補者として、現運営法人とすることが妥当である。

氏名